

第3回日本語教育研究集会

日時 2005年8月8(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟2階 LL22 番教室(控え室: LL24 番教室)

プログラム

受付開始: 9:30~

- 研究発表: 10:00~10:30 鈴木智美(東京外国語大学留学生日本語教育センター)
「そんなX」に見られる感情・評価の意味
- 話者がとらえる事態の価値・意味と非予測性 -
- 10:30~11:00 稲田朋晃(名古屋大学大学院生 M2)
日本語学習者の発話の自然性について
~ アクセント句とイントネーション句の形成に注目して ~
- 11:00~11:30 村松由起子(豊橋技術科学大学留学生センター)
日本人・留学生混在クラスにおける日本語学習の試み
- 両者にとっての意義と今後の課題 -
- 11:30~12:00 家田章子(名古屋女子大学・非常勤講師)
条件の階層化と逆接表現
(以上司会 名嶋義直: 東北大学大学院文学研究科)

(昼休み)

- 13:00~13:30 杉村 泰(名古屋大学大学院国際言語文化研究科)
起点 を示す格助詞「を」と「から」の誤用分析
- 13:30~14:00 松下達彦(桜美林大国際教育センター)
日本語教育プログラム研究の課題と展望
- 14:00~14:30 渡邊ゆかり(広島女学院大学文学部)
日本語の文に関する一考察
- 講演者の発話に見る動詞「~なる」 -
- 14:30~15:00 林 佩芬(名古屋大学大学院生 D2)
「NCQ型」数量詞表現
(以上司会 李 澤熊: 名古屋大学留学生センター)

(休憩)

- 15:15~15:45 木下りか(大手前大学人文科学部)
名詞と形容詞の装定用法
- 色彩と距離の表現における選択条件 -
- 15:45~16:15 長谷川紀子(名古屋大学大学院生 M2)
接触場面会話における発話の重なり
- 16:15~16:45 名嶋義直(東北大学大学院文学研究科)
ノダは「説明のモダリティ」か
- 16:45~17:15 河口苗子(名古屋大学大学院生 M2)
日本語授業における教師の疑問文と教授ストラテジー
(以上司会 許 夏玲: 東京学芸大学留学生センター)